

仙台大、福祉大に先勝



福祉大―仙台大 1回表福祉大無死一、二塁、三重
殺を決めてナインと喜ぶ仙台大の熊原(中央)

仙台大が1-0で1戦は、仙台大が1-0で制した。東北大―東北工大は工大が先勝した。

仙台大は二回に無死一、三塁から千葉俊の内野ゴロで先制し、主戦の熊原健人

が福祉大を散発3安打に抑えて完封勝ち。工大は四回に鈴木稔也の三塁打などで3点を先取。七、八回にも加点し、8—1の八回コールドで東北大を下した。

第5節第2日は10日、同球場で工大―東北大、仙台大―福祉大の各2回戦が行われる。

熊原 3安打完封

福祉大―仙台大1回戦（仙台大1勝）

福祉大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台大	0	1	0	0	0	0	0	0	X	1

勝熊原3試合3勝
敗佐藤優4試合3勝1敗

【評】仙台大が1点を守り切った。二回無死一、三塁で千葉の内野ゴロの間に三走が生還。先発熊原は伸びのある直球を軸に福祉大打線を抑え込み、3安打完封した。福祉大は一回無死一、二塁の好機を三重殺でつぶし、好投の佐藤優を援護できなかった。

○：三重殺決め、リズム乗る 福祉大を3安打完封した仙台大の熊原は「最初は空回りがしたが、よく抑えられた。あす(第2戦)にいい流れをつくれた」と喜んだ。

「奇跡かな」と振り返ったのは一回。連続四死球の無死一、二塁から楠本を投直に打ち取ると、素早く二塁に投げ

て二死、一塁に入った遊撃手が一塁に送って三重殺が完成した。以降は力のある直球を武器に8奪三振。福祉大の山路監督を「三重殺で落ち着かせてしまった」と嘆かせた。

チームを先勝に導いた右腕も、この日は制球に苦しみ、軸足を置く位置を変えながら、工夫して乗り切った。「第2、第3戦も登板するかもしれない。準備したい」と気持ちを持ち替えた。

工大 今季初勝利

東北大→工大1回戦（工大1勝）
工大
0000
0000
0001
300
2x81

(八回コールドゲーム)
勝敗地6試合1勝4敗

【評】工大が12安打を放ち、八回コールドで今季初勝利。四回に鈴木稔の左中間三塁打などで3点を先取、七回にも4短長打などで3点を加えた。先発菊地は3安打1失点と好投。

東北大は六回に石垣の適時打で1点を返すにとどまった。

工大・菊地和成投手（3安打1失点でチームと自身の今季初勝利）「（1勝して）ほっとした。先に点を取ってもらったことで楽に投げられた。いつでも投げる準備はできている。残りの試合もしっかり勝ちたい」

(右)	福	大	打	安	点
(三)	社	木	3	0	0
(遊)	鈴	光	3	0	1
(指)	泉	裕	3	0	1
(一)	楠	本	4	1	0
(左)	寺	田	3	0	0
(二)	高	山	3	0	0
(輔)	浅	沼	3	0	0
(中)	井	野	3	1	0
(打)	西	坂	3	1	0
振	球	涼	2	1	0
8	2	0	2	9	3
	0	2	4	0	0

仙台大	打安点
(右)鳥井	4000
(中)白川	4110
(三)松本	4311
(一)大坂	3311
(指)薄井	3311
(左)鶴田	3210
(捕)千葉	3101
(一遊)浅野	3300
(二遊)柏尾	3300
振球儀併残	—
41014	2851

■楠本生楠本、柏
尾時 1時間50分
投手 佐藤 熊 手回 藤優 8 打安責 29 5 1
熊 原 9 31 3 0

東北	田口	3423322100	1110000000	0110000000		
(左)	石沢	原木	嶋堀	沢部	形岡	林木
(三)	柳服	駒村	北佐	々々	残	
(指)						
(捕)						
(遊)						
(一)						
(右)						
(中)						
打中						
振球						

	工	大	打	安	点
(二)	久	慈	5	3	0
(中)	久	海	5	0	1
(遊)	遠	藤	5	1	2
(指)	鈴	勇	2	0	0
(走)	木	卷	0	0	0
(一)	鈴	棧	1	1	2
(打)	高	一	0	1	0
(走)	志	賀	1	0	0
(一)	植	田	0	0	0
(輔)	吉	川	3	1	1
(三)	黑	垣	4	1	0
(左)	石	枝	2	1	0
(右)	間	残	4	0	0
(振)	球	機	1	9	3
5	5	0	1	3	4
				2	7

三 鈴木 穂 三 高橋 浩
一 石 垣 (工) 久慈
久 慈 田 口 久
笑 沢 沢 木
田 石 垣 (東)
時 2 時 間 11 分

投	手	回	打	安	責
橋	口	6	26	53	
田	村	1 $\frac{1}{3}$	137	4	
菊	地	8	293	0	